

②多様な人と文化を受け入れる多文化共生

ホームステイや草の根交流を体験することにより、誰もがグローバルな観点から行動できるようになって、異国の文化を理解する力を身につけており、多様な人たちが、兵庫で経験を深めている。

2040年の生活シーン

<プロフィール>

- アフリカ出身の16歳の男性。丹波地域の高校に交換留学で来ており、同級生の男子の家にホームステイしている。
- 高校ではサッカー部に入っている。クラスメイトと勉強を教えあったり、部活動でサッカーをしたりする中、たくさんの友達ができている。

<草の根交流>

- 高校には、僕のような交換留学生に加え、外国籍の生徒が何人かいる。アジア、欧米、アフリカなど、国籍は様々だ。
- 世界の政治や経済の動きについて授業でディスカッションすると、生徒の文化や宗教によって、問題の捉え方が異なる。日本人のクラスメイトも、いろいろな観点からの意見を聞いて勉強になると言ってくれるし、逆に、彼らから、防災や環境問題について兵庫県の経験を踏まえた意見が出ると、なるほどそういう考え方もあるのか、と気づかされる。
- 兵庫県にはサッカーの拠点があり、先週は世界各国の高校からサッカーチームが集まって大会が開催された。最初の自己紹介ではぎこちなかったけれど、一緒にボールを追いかけると、一人ひとりの能力や性格がよく分かり、コミュニケーションもとれるようになった。
- 大会が終わったときには、名残惜しい気分になった。来年は〇〇国で同窓会をやるとういうことになり、幹事を決めてお互いに連絡先を交換し合い、握手して別れた。

<災害発生時>

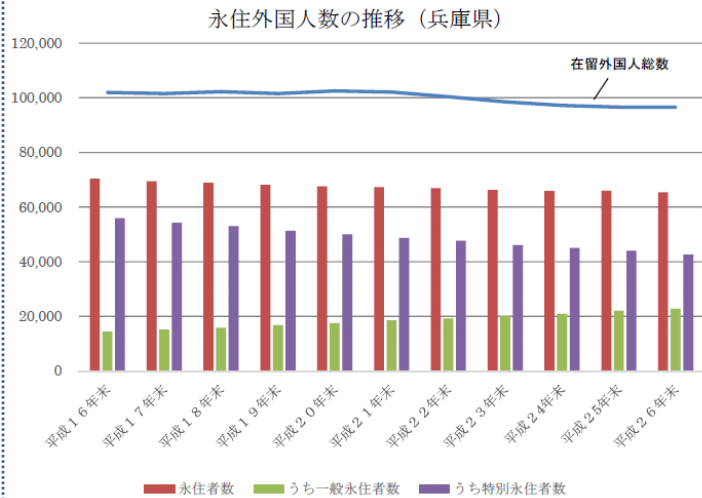
- 先月、大雨が降ったときは、多言語で気象警報が配信された。僕は、今後の雨の見込みなどの情報を母国語に訳して、災害時情報交換ネットワークに流した。同じ国の人から、状況が詳しく分かって安心できたとお礼のメールがたくさん来た。

<文化の尊重>

- 僕は宗教上、食べ物、飲み物で口にしてはいけないものがあり、ホームステイしている家では、食事の際に家族みんなで気をつけてくれる。お祈りの時間もあるけど、これは、生活の一部で当たり前のことだと理解してくれていて、場所や時間を取ることを尊重してくれる。
- この前の週末は、ホームステイ先の同級生と一緒に、近くのお寺を見学に行った。素晴らしい仏像を拝観できて、彼が誇らしそうに由来を教えてくれた。僕も自分の住んでいるところの自慢がしたくなって、家族にふるさとの写真を送ってもらうよう頼んだ。
- 彼も来年、海外への交換留学に申し込むそうだ。僕は日本に来て、日本や兵庫がとても好きになり、もっと世界の人たちに兵庫の良さを知ってもらいたいと思うようになった。彼も日本に居ては学べない多くのことを、たくさん吸収できると思う。

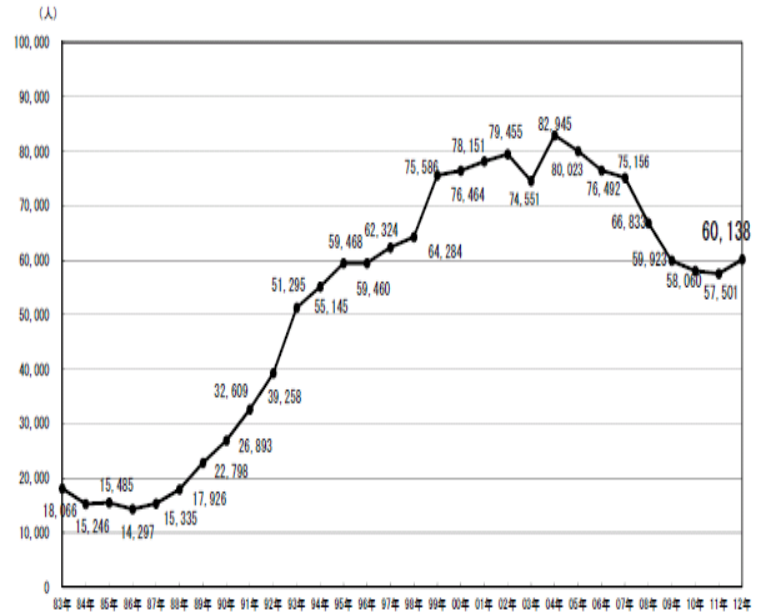
現状や課題

【在留外国人数と永住外国人数の推移（県）】



(出典:兵庫県「ひょうご多文化共生社会推進懇話会 第1回懇話会資料」)

【日本人の海外留学状況】



(出典:文部科学省「日本人の海外留学状況」)

見えてきた兆し

【多言語表示（東京都台東区）】

台東区、ホームページを89言語に翻訳、災害時用ページも

2015/11/18 12:05 | 日本経済新聞 電子版

東京都台東区は12月1日、ホームページ(HP)を89の外国語でも表示する内容にリニューアルする。新たな自動翻訳機能を導入し、外国語対応を拡大する。同区は浅草や上野などの観光地を抱えており、訪日客などに幅広く情報発信する狙いだ。89もの外国語を表示するHPは23区で初めて。

外国語はこれまで、英語、中国語、韓国語のみの対応だった。今後はフランス語やタイ語、マレー語のほか、米グーグルの自動翻訳機能を使ってアフリカやインドの言語も表示する。各ページ上に表示する外国語欄をクリックし、言語を選択すると切り替わる。

また災害時用の専用トップページも作成する。大規模災害時には文章主体の容量の軽い同ページに切り替え、アクセスの負荷を低減。迅速に防災情報を提供する考えだ。

(出典:日本経済新聞電子版)

【草の根交流事例】



訪日教育旅行での部活動交流

(出典:公益社団法人ひょうご国際交流協会「学校交流の実例～高等学校版」)

【専門家等の意見】

- あらゆる出身の者が混在しているコミュニティは、非常時の脆弱性が高い。
- 語学力よりも、外国人とのつきあい方がわかっている方がグローバル化を進めることにつながる。